

「地域に根ざした組合活動」

平成28年9月27日

最初に今年の数多くの地震・台風等で被災された構成単組の皆様に心からお見舞い申し上げます。

青森では現在、最高気温25℃、最低気温15度を下まわり、本格的な秋を迎えています。青森県のなかでも東北町は小さな町ですが、全国有数の長いも生産、県下有数の畜産、シラウオ・ワカサギ漁やシジミ貝に代表される農業と水産業の町です。

今年は北海道などの台風の影響により農作物の品薄感が漂うなか、東北町では長いも・ごぼう・にんにくなど根菜類の栽培が盛んで、これから本格的な収穫時期を迎えようとしています。

さて、私どもの東北町職員組合では、地元の秋祭りが開催される9月に会場の清掃活動を毎年恒例にして行っています。もちろん今年度も実施しました。清掃活動のほかにも、数多くの組合員が祭りへの個人的な参加をしています。

些細な活動ですが、地道に積み重ねてことが地域の皆様から理解が得られると考えています。

東北町職員組合では組合活動を通じて先輩から後輩に地域活動やボランティア活動に積極的に参加するよう勧められてきました。私も自分なりに地域活動に関わってきた中で公私問わず様々な面で役に立っています。地域と密接に関わることにより自治体職員、労働組合としての糧となることを先輩方は経験し受け継いできたのだと思います。

地域に根ざし住民の目線に立った我々自治労連の考え方にあらためて共感しています。また、これから多くの後輩に伝えていけたらいいなと思っています。

